



みんなまで守ることに

59年、文化財に

落合君 ここではチョウセンアカシジミを守る取り組みが、どうして始まったのかを、みんなで勉強しましょう。

河川工事などで減少

チョウセンアカシジミは、限られた所に住む珍しいチョウなので、昭和59年ごろには、各地からチョウマニアが村に来て、標本にするため卵を盗んだりしたそう

す。それにヤマセ（北東風）や大雨、さらに道路や川の工事などで、チョウの食べるデワノトネリコの木が切られてしまい、村にいるチョウが減ってしまいました。

そんなことがあったので、村教育委員会では「チョウを守ろう」と、昭和59年10月に村の文化財（天然記念物）に指定し、パンフレットを作製したり、デワノトネリコの植樹などの保護活動に努め

地区別・年次別の産卵数（個）								
地区名	年	S 59 (1984)	H 11 (1999)	H 12 (2000)	H 13 (2001)	H 14 (2002)	H 15 (2003)	H 16 (2004)
落合		3,924	1,368	4,794	827	588	863	2,049
上普代		1,437	3,117	6,950	3,001	2,607	4,373	6,684
普代		80	20	280	85	32	21	65
芦渡		1,665	0	269	36	0	0	0
芦生		234	0	49	48	87	400	1,193
萩牛		71	0	0	0	0	0	0
茂市		572	394	270	128	62	107	29
茂市(北/股)		336	0	0	0	0	0	0
茂市(南/股)		606	214	196	0	0	0	0
向野場		0	0	0	0	0	0	0
太田名部		0	0	0	0	0	0	0
和野山		0	0	0	0	0	0	0
黒崎		0	0	0	0	0	0	0
力持	生息確認		199	677	229	155	414	552
白井		0	0	0	0	0	0	0
白井(北/股)	生息確認		0	0	0	0	0	0
鳥居	生息確認		0	0	0	0	0	0
不行道	生息確認		0	0	0	0	0	0
堀内		0	0	0	0	0	0	0
堀内机		0	0	0	0	0	0	0
合計		8,925	5,312	13,485	4,354	3,531	6,178	10,572

このまま減り続けると、絶滅の心配があることから、村教育委員会では平成12年の2月から3月にかけて、チョウセンアカシジミの会の尾形さんの協力を得て、5日間かけて全村を回り産卵数調査を行いました。卵の数をメモし、卵の付いたデワノトネリコには保護のため赤いテープを巻き付けました。昭和59年の天然記念物の指定から16年ぶりの本格的な調査でした。

調査の結果は卵の数は5312個。昭和59年の8925個に比べ、約40%も減っていました。尾形さんは原因を「チョウは日中の天気

16年ぶりに本格調査

この問題は村だけでなく、チョウセンアカシジミが生息する市町村などにもいえることで、県内の9市町村ではそれぞれ天然記念物に指定し、チョウを守っています。



寒い中、トネリコについた卵を数える村教委職員（右）と尾形洋一さん（左）

リーフレットの作製

これを機に村教育委員会では、今まで違法採取されなかったために公開しなかつた生息地を皆さんに公開し、皆さんの協力で守っていきましょうとしました。チョウセンアカシジミの保護活動は生息地を「隠して守る」から皆さんに公開して「みんなで守る」に変わっていき



保護啓発用に作製されたリーフレット